

## 平成31年度 町 政 執 行 方 針

平成31年第1回町議会定例会の開会にあたり、町政執行に対する所信と町政運営の基本的な考え方を申し上げます。

私は、昨年7月に執行された町長選挙におきまして、町民のみなさんから無投票当選という大変名誉あるご審判をいただき、再び町政の舵取りをさせていただくこととなりました。

議員各位をはじめ町民のみなさんから寄せられた温かいご支援、ご協力に対し、心から感謝を申し上げますとともに、期待と信頼に誠心誠意お応えすべく、町民の生命と財産を守るという信念のもと、みなさんの声に耳を傾け、夢と希望を持ち安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、決意も新たに町政に取り組む所存であります。

平成30年を振り返りますと、本町の今後のまちづくりを進めるうえで核となる、2030年度末の北海道新幹線長万部駅の開業を控え、長万部まちづくり推進会議から「まちづくりアクションプラン」の提言をいただくとともに、町内では3本のトンネル工事が順調に進められたところであります。

一方で、全国的には4月の鳥取県西部地震、6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、そして9月の北海道胆振東部地震と、各地で自然災害に見舞われた1年でもありました。

幸い本町では人命に関わる大きな災害はありませんでしたが、住民の生命と財産を守るべく責任を持つ自治体として、防災の取組に対する決意を新たにしたところであります。

今年は、5月1日に新天皇が即位され、30年続いた平成の時代に終わりを告げる節目の年となりますが、ふるさと「おしゃまんべ」への思いは変わることなく、今後とも町民のみなさんと力を合わせ知恵を絞り、各種施策の実現に全力をあげて取り組んでまいり所存であります。

今後も、町民一人ひとりの思いを大切に町政を進めてまいりますので、議員各位をはじめ、町民のみなさんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

それでは、町政執行の主要施策について申し上げます。

### **はじめに、防災関係及び交通安全対策について申し上げます。**

防災関係では、平成29年度より進めておりました防災行政情報伝達システム整備事業につきましては、平成30年度において電波伝搬調査を実施し、最終的な導入方式を決定いたしました。今後、3月末までに実施設計を終え、平成31年度中には工事を完了し、試験運用を開始したいと考えております。

また、引き続き、災害時に使用する毛布や敷きマット等の計画的な整備、各種災害を想定した防災訓練や災害パネル展等を開催し、防災意識の高揚を図ってまいります。

交通安全対策では、長万部町交通安全指導員協議会を中心に、関係機関、団体と連携し、旗の波運動や街頭指導を実施しながら、交通弱者である高齢者の交通事故防止や児童生徒の交通安全の確保を重点として、町民一人ひとりの安全意識の高揚を図り、交通事故の減少と死亡事故の撲滅を目指してまいります。

### **次に、東京理科大学関係について申し上げます。**

今年も4月9日夜、全国各地から長万部町に東京理科大学基礎工学部33期生が入学されます。理科大生歓迎のフラッグを商店街や温泉街、理科大までの通りなどに掲げるなどして、町民のみなさんとともに温かい気持ちで迎えてあげたいと考えております。

また、理科大との連携によるアグリビジネス事業につきましては、旧デッカ跡地の植物工場で栽培を開始している高糖度ミニトマトが、現在2棟体制で栽培されており、1棟目は昨年夏の日照不足で収穫量が落ち込みましたが、2月中に苗の入替を行い、今年度2作目に入っており、

昨年11月に増設、栽培を開始した2棟目については、栽培は順調に進み、本年1月下旬から収穫を開始し、糖度も高い高品質なミニトマトが出荷されております。

また、今年度での取組として、長万部町及び当該事業全体のブランディング・プロモーション強化学業の一環として、本年2月27日から3月1日まで幕張メッセで開催された「地方創生E X P O」に理科大IM社と共同出展参加し、地方創生事業の紹介及びふるさと納税のPRなど本町の宣伝、認知度強化を図ってまいりました。

新年度では、引き続き雇用の確保と高効率生産などの研究を行うとともに、コスト面で経費の見直しや経営の安定化を担う再生可能エネルギーの研究・検討なども行っていく予定となっており、これらの事業に伴う、生産物の売上拡大を図るためのブランディング、プロモーション、マーケティングや、生産効率の向上と出荷量増加のためのシステム導入研究や、大学との共同研究などのソフト事業の実施について、国の地方創生推進交付金事業として、最終年度の実施計画を1月に申請しております。

この交付金事業につきましては、関連予算を本定例会での新年度当初予算に提案いたしており、来年度以降の自立経営に向け支援してまいります。

#### **次に、第4次長万部町まちづくり総合計画について申し上げます。**

我が町の最上位計画として位置づけられる「長万部町まちづくり総合計画」につきましては、平成22年度に第3次の総合計画が策定され、計画期間を平成23年度からの10年間として、各種施策などを展開しているところであります。

少子高齢化や人口減少の進行、厳しくなる財政状況の中、北海道新幹線長万部駅開業を見据えたまちづくりなども含め、社会情勢変化に伴う様々な課題に的確に対応するため、次期の第4次総合計画にあたっては、平成31年度より2か年で策定作業に取り組み、今後のまちづくりの指針となる10年間の総合計画の策定を行ってまいります。

## **次に、長万部町創生総合戦略について申し上げます。**

平成27年度から、人口減少と地域経済縮小の克服に主眼を置いた「長万部町創生総合戦略」を策定し、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間として施策展開を図ってまいりましたが、こちらも戦略の評価を行い、本町の人口ビジョンを見直しながら、さらなる人口減少対策の強化を目指し、次期5年間の総合戦略を策定してまいります。

さらに新たな「総合戦略」における取組については、「長万部町まちづくり総合計画」の重点プロジェクトとして位置づけるなど、両者の調和性を確保した一体化したものとして、連動を目指してまいります。

## **次に、長万部都市計画マスタープランについて申し上げます。**

本町では、長万部都市計画マスタープランを策定し、このまちづくりの基本方針に基づいて都市計画決定をしているところであります。

現在の都市計画マスタープランは、平成16年度から20年間を計画期間としていますが、平成24年の北海道新幹線認可・着工、平成29年の長万部駅高架化決定や、今後予定される北海道の地区マスタープランの見直しを踏まえて、平成31年度中に長万部都市計画マスタープランの見直しを行い、その後に新たな都市計画決定を行ってまいります。

見直しにあたっては、駅周辺整備など密接に関連する長万部まちづくりアクションプランとの整合を図るとともに、都市機能の集積と居住を誘導する区域を定める、立地適正化計画の策定も視野に入れながら、まちづくりの基本方針を決定してまいります。

## **次に、北海道新幹線関係について申し上げます。**

現在、町内では3本のトンネル工事が行われており、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち1月末現在で延長237メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は本坑5,570メートルが1月から掘削が開始されたばかりであります。

立岩トンネルの豊津工区についても、今年度秋からの掘削開始を目標に準備が進められているところであります。

新幹線の地上部である明かり区間につきましては、現在、一部の区間で測量調査や新幹線と交差する道路や河川などの付け替え協議が行われており、今後、用地買収や支障物件の移転など、市街地部分の協議が本格化していくことが想定されますが、新幹線工事に伴い、町民のみなさんの生活に支障が生じないよう最大限に配慮するとともに、事業が円滑に推進できるよう、建設主体である鉄道・運輸機構との連携を密にして対応してまいります。

### **次に、長万部まちづくりアクションプランについて申し上げます。**

新幹線開業を見据えた取組といたしまして、昨年3月に官民が一体となって、まちづくりを進めていくための、「長万部まちづくりアクションプラン」が策定され、提言を受けました。

このプランは、長万部まちづくり推進会議での議論を踏まえ、交通アクセス分野、まちなみ形成分野、観光振興分野の3つの分野、16プロジェクト、30施策と、開業までの年度別の取組のロードマップをとりまとめたものであり、現在、これに沿って、町道本町通の道道昇格要望などの駅周辺整備に係る関係機関との協議や、駅前周辺整備などを反映した長万部都市計画マスタープランの策定作業、長万部町・黒松内町・豊浦町の3町連携会議「はしっこ同盟」をはじめとする地域連携の可能性・方向性の検討を行っているところであります。

今後も、新幹線開業効果を最大限に発揮するため、アクションプランで提言のあった施策の方向性に基づきながら、将来のまちづくりに向けた取組を進めてまいります。

### **次に、高齢者福祉対策及び介護保険事業について申し上げます。**

平成30年度からの3年間を計画期間として、「共に支え合い、長寿で豊かなまちづくり」を基本理念とした、第7期長万部町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき「高齢者の生きがいと健康づくり」「安

心して暮らせる環境づくり」「多様な暮らしを支え合うまちづくり」を目標に取り組を進めてまいります。

住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に努め、社会福祉協議会をはじめとした関係機関等との連携のもとに、相談や見守り体制等の生活支援サービスの体制整備、医療・介護連携の推進、認知症の総合的な対策に取り組んでまいります。

また、地域包括支援センターにおける相談受付、生活支援などのほか、在宅での生活を支える介護予防事業等を推進しながら、介護保険事業の安定とサービス向上に努めてまいります。

さらに、高齢者のみなさんがその能力や経験を生かし積極的に社会参加ができる場づくりとして、地域敬老会への補助、老人クラブの活動支援、タクシー料金の助成、福祉バスの運行など平成31年度も継続して実施してまいります。

### **次に、障がい者福祉関係について申し上げます。**

平成30年度からの6年間を計画期間とした第3次長万部町障がい者基本計画、平成30年度からの3年間を計画期間とした第5期長万部町障がい福祉計画（第1期長万部町障がい児福祉計画）をもとに「障がい者のだれもが自立し、安心して暮らし支え合う町」を目指し、「障がい者等の自己決定と自己選択の尊重」「地域生活への移行や就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備」「障がい児支援体制整備」を目標に取り組を進めてまいります。

障がいに対する理解促進を図り相談支援体制や情報提供の充実を図るとともに個々に応じた的確なサービスの提供に努めてまいります。

また、町内に在住する障がいのある方の集まれる場所として、また、軽作業を行うことで生きがいを見いだすことができる場所として地域活動支援センター事業を継続してまいります。

### **次に、町民の健康増進について申し上げます。**

平成30年度からの10年間を計画期間として、町民の「健康寿命の延

伸と健やかな暮らしを実現する」を基本理念とした長万部町健康づくり計画に基づき「健やかに産み育てる」「生活習慣病の予防と悪化の防止」「こころの健康保持」を目標に家庭や教育関係機関、商工・農業・漁業団体、町内会等と連携し、健康づくりの推進に取り組んでまいります。

母子の健康では、母子健康手帳の交付時や乳幼児の健診などの機会を通じて、個別相談や育児相談を継続して実施してまいります。また、聴覚障害早期発見のために各産院で行われている新生児聴覚検査費用の公費負担を平成31年度から実施し、受診者の経済的負担の軽減を図ってまいります。

食育については、幼少期から食への関心を持ち、栄養や食の安全への理解を深め、健康的な食生活を実践できるよう支援してまいります。

生活習慣病の予防と悪化の防止では、少年期からの知識の普及や良い生活習慣についての周知、健診の重要性について関係機関の協力を得ながら啓蒙に努めてまいります。また、健診の受診率向上のため検診料金の一部助成を継続してまいります。

こころの健康保持では、個別の健康相談体制の充実を図り、面談や電話による相談事業を継続してまいります。

## **次に、児童福祉関係について申し上げます。**

町立保育所では、職員体制の充実を図るとともに保護者のご協力をいただきながら、保育サービスや保育環境の充実に努めてまいります。

また、保育所内に設置している子育て支援センターでは、みんなの広場や遊びの広場など親子遊びの場の提供、子育て相談、子育てサークルの応援など、子育て支援の充実に努めてまいります。

一昨年度より拡大して実施しております、町内の保育所、幼稚園に2人以上で入所の就学前第2子以降の児童の無料化は、平成31年度も実施し、子育て支援の拡充を図ってまいります。

また、国の進める幼児教育・保育の無償化により、全ての3歳児から5歳児と、住民税非課税世帯の0歳児から2歳児までの保育料が本年10月から無償化されることに伴い、子育て世代へのさらなる負担軽減に努めてまいります。

本町では、学童保育を民間事業者に委託し、昼間、留守家庭の児童の放課後等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図っており、引き続き、平成31年度も実施してまいります。

さらに、町内に設置されている民間の保育園に対し、経営の安定化を図るため、平成31年度も支援を行ってまいります。

### **次に、地域会館関係について申し上げます。**

町内にある地域会館の中で、経年劣化が進む陣屋生活館については、館内の床及び屋根の修繕工事を実施してまいります。

### **次に、生活環境関係について申し上げます。**

私たちの暮らしに関わる環境問題への取組は、町民一人ひとりが意識を持って環境負荷の少ない生活様式へと転換させていくことが大切であります。「混ぜればごみ、分ければ資源」の言葉どおり、自然に優しい循環型の地域社会づくりを目指すため、ごみ減量化の一環として、生ごみ堆肥化容器購入補助や廃食用油、小型家電、衣類等の無料回収を継続して実施してまいります。

その他には、低炭素まちづくりに向けての節電対策を強化するため、各団体が管理している街路灯の電気料金補助及び設置改良補助を継続いたしますので、地域みなさんに補助制度をご活用いただき、省エネルギー機器交換の推進と維持管理負担軽減を図ってまいります。

### **次に、農業振興について申し上げます。**

酪農経営の安定的発展を図るため、酪農ヘルパー利用組合や乳牛検定組合等に対する助成をしてまいります。

また、生産者のコスト低減と規模拡大を図るため、町営による公共牧場事業を継続してまいります。

肉用牛は、町有貸付牛の貸付けを引き続き行うとともに、農業共済組合や農業改良普及センター等と連携し、生産者の技術支援や巡回指導等

に努めてまいります。

牛ウイルス性下痢等のまん延防止を図るため、地域衛生管理体制整備事業を実施し、地域の家畜衛生体制整備を推進してまいります。

道営農道整備事業は、静狩地区道営農道整備事業として、横断管の改修を実施してまいります。

道営草地整備事業は、公共牧場を含めた実施計画区域で、平成30年度に草地整備改良214.6ヘクタール、暗渠排水30.7ヘクタールなどの測量調査及び設計業務が完了し、平成31年度から順次工事を実施してまいります。

各地区の農地及び営農用水施設等の維持管理につきましては、多面的機能支払交付金事業を実施し、保全活動の支援を行ってまいります。

新規就農者対策としては、東京都や札幌市で開催される就農フェアに長万部町のブースを出展し、本町のPRや就農への情報発信を行ってまいります。

## **次に、林業振興について申し上げます。**

町有林保育事業では、豊津・共立・静狩地区町有林の多面的な機能をより一層充実させるため、地拵・植栽、下刈、間伐事業などの一体的な整備事業を実施してまいります。

民有林保育事業では、未来につなぐ森づくり推進事業による造林奨励事業補助を行うとともに、町単独事業として、民有林造林推進下刈奨励事業による下刈事業補助を行い、林業振興と森林機能の向上に努めてまいります。

豊津・国縫各地区の分収造林契約地は、根踏、下刈、除伐事業などを実施してまいります。

道営事業は、豊津地区の町有林及び民有林事業推進のため、平成17年度から実施している基幹林道豊津黒岩線整備を、引き続き進めてまいります。

有害鳥獣対策では、ヒグマやエゾシカ等に加え、近年道内でも急速に生息域を広げているアライグマ等の特定外来生物防除実施計画に基づき、これら特定外来生物の町内への侵入・定着阻止も含め、農林業への

被害を未然に防止するため、長万部町鳥獣被害防止対策協議会を中心に、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施してまいります。

### **次に、漁業振興について申し上げます。**

本町の平成30年におけるホタテ貝養殖漁業の漁獲量及び漁獲金額は、漁獲量15,330トン、漁獲金額では43億5,986万円となり、前年と比較し、漁獲金額では47.5%の増となりました。

主な要因としては、前年の記録的な斃死等などの成育不良から一時的に生産が回復したことが増産の要因と考えられます。

ホタテの生育状況は、昨年12月に渡島北部地区水産技術普及指導所が調査した結果、成貝及び稚貝に斃死が発生しておりますので、引き続き各関係機関と連携し、注意深く生育調査等を行ってまいります。

漁業振興では、漁業近代化資金借入金に対する利子助成や漁港街路灯電気料の補助を行い、漁家経営の安定化と健全な育成を進めてまいります。

水産物供給基盤機能保全事業は、北海道が事業主体となり、長万部漁港の機能保全工事や静狩漁港及び長万部漁港の漂砂対策として、防砂堤の新設工事を行うことが決定されております。また、同じく北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業の採択を受け、国縫漁港内船揚場改良工事も行うことが決定されております。

### **次に、商工・観光振興について申し上げます。**

人口減少による地域経済の縮小が続く中、本町の商工業の振興を図るため、商工会への運営費助成を行います。

また、商工会と連携し、中小企業の育成と経営安定のため中小企業融資資金の貸付けを行い、利子補給を実施してまいります。

多目的活動センターあつまんべは、町内の団体主催によるイベントや各種会議、東京理科大学にも利用いただいております。木育コーナーも親子の憩いの場となっております。

今後も積極的に活用いただき住民の交流拠点となり、地域振興が図られるよう利用を推進してまいります。

商業・観光の活性化の一環であります合宿誘致事業やクラス会実施補助事業には、平成31年度も引き続き助成を行い、関係団体との連携を強め、一層の誘致推進を図ってまいります。

観光振興では、JR長万部駅舎内に設置された長万部観光協会による観光案内所は、本町の観光案内はもとより名産品販売所として広く知られるようになり、国内をはじめ外国人観光客や町民の方に利用されており、地域経済への寄与が見受けられるようになりました。

平成31年度は、観光パンフレットの増刷事業に助成を行い、引き続き長万部町の認知度向上を図ってまいります。

また、本町の大きな観光資源の一つであります長万部温泉の温泉井維持管理事業に助成し、温泉施設の安全と安定供給に努めてまいります。

さらに、本町の一大イベントであります、おしゃまんべ毛がにまつりに助成し、地域特産物のPRを積極的に行い、町内外の各団体との連携を強め、地域の活性化を図り、観光のブランド化を進め、さらなる観光振興・地域振興に努めてまいります。

## **次に、労政関係について申し上げます。**

全国的に雇用情勢は改善を続けているものの、北海道は他地域との比較では回復の遅れが指摘され、未だに厳しい状況にあります。

本町としては、良質で安定的な雇用を維持するため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会等関係機関と連絡を密にし、求人情報や各種事業等の周知を進めるとともに、国や道と連携して雇用の確保を積極的に行ってまいります。

## **次に、消費生活相談関係について申し上げます。**

近年の消費生活相談の多様化に伴い、渡島管内の全ての市町と協力して、より高度な対応ができる、函館市消費生活センターへの相談引継ぎ体制を整えております。

なお、本町でも引き続き、消費生活相談員を配置するとともに、地方消費者行政活性化事業基金等を活用して整備した消費生活相談体制の充実など、消費者行政の強化を図ってまいります。

### **次に、建設関係について申し上げます。**

土木事業では、長万部町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、国の社会資本整備総合交付金を活用して、町道橋の橋梁点検調査業務を実施してまいります。町道橋は5年に1度の法定点検が義務づけられており、平成31年度は、町道橋78橋のうち24橋についての点検調査を実施いたします。

また、同じく長万部町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、国の社会資本整備総合交付金を活用して、蕨岱地区の知岱橋修繕工事を実施いたします。

そのほか、町道の舗装補修工事や排水路の清掃、河川の土砂除去など、計画的に実施してまいります。

公園事業では、老朽化したふれあい公園の第2キューピクル更新工事を単独事業で実施してまいります。

公営住宅事業では、夜間停電時における入居者避難時の安全確保のため、町営住宅神社下団地の共用廊下・階段に設置している非常照明用器具の交換工事を実施してまいります。

そのほか、公営住宅施設や設備の維持、修繕など、計画的に実施してまいります。

### **次に、公共下水道事業について申し上げます。**

公共下水道の利用状況は、平成31年1月末現在、供用開始区域内人口3,879人に対し、下水道接続人口は2,818人で、水洗化率72.6%となっており、今後も快適な生活環境づくりに向け、水洗化の普及促進に努め、自主財源の適正な確保と経営の効率化を進めてまいります。

平成31年度の主な事業として、汚水処理施設共同整備事業の建設工事を平成30年度から着工しており、平成31年度末完成に向けた2か年の継

続事業を実施してまいります。

### **次に、ガス事業について申し上げます。**

平成30年度の経営状況は、暖冬等の影響によりガス販売量は1月末現在で前年度を下回っており、単年度収支で赤字が見込まれております。

平成31年度の主な事業として、経年管対策事業であるガス本支管改良工事を実施してまいります。

収益は、ガス売上の増加を見込んでおりますが、減価償却費等の増加により、単年度収支で赤字の見込みとなっております。

ガス料金は、平成31年度も引き続き、主原料のプロパンガス輸入価格の変動により、単位料金単価を調整する「原料費調整制度」に基づいて、ガス供給条例で定める料金を毎月調整算定することになっております。

ガス事業については、今後も厳しい経営環境ではありますが、保安の確保と安全性の向上に努めるとともに、健全な経営を図るよう努力してまいります。

### **次に、水道事業について申し上げます。**

平成30年度は、給水件数、給水量ともに1月末現在で、前年度より下回りましたが、経費の節減により、単年度収支で黒字が見込まれております。

平成31年度の主な事業として、水道管移設及び配水管改良工事の費用を計上しております。

収益は、給水収益の減少を見込んでおりますが、経費の減少により、単年度収支で黒字の見込みとなっております。

水道事業については、今後とも経費の節減を図り効率的な事業運営を実施し、安全な水の安定供給に努めてまいります。

### **次に、町立病院事業について申し上げます。**

町立病院につきましては、町民のみなさんの健康を支える町内唯一の

病院として、また、救急告示病院として、その機能充実に努めてまいります。

診療体制は、内科医師2名、外科医師1名の常勤医師3名と、毎週火曜・金曜日に北大小児科から医師派遣をいただき小児科診療及び函館の民間病院による月1回の眼科診療を実施しております。

土曜・日曜日の救急医療につきましては、北大病院などから医師の派遣をいただき診療を実施しております。

平成31年度につきましては、高齢化の進展や多様化する診療需要等、町民のみなさんの期待に応えられる病院づくりを進めるため、より一層の医療体制の充実に努めてまいります。

今後も、体制の維持強化に努め、訪問診療や健康診断・各種検診及び予防接種等の充実に努めながら、地域に根ざした信頼される病院を目指してまいります。

## **次に、消防関係について申し上げます。**

近年の複雑多様化、大規模化する火災や災害に対応する万全な消防体制を確立するため、消防施設装備、消防水利の整備に努め、住民誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

火災予防については、防火対象物の立入検査を徹底し違反是正に取り組むとともに、避難訓練や防火指導により予防意識の向上を図ってまいります。

また、住宅用火災警報器の適正設置や早期更新を促し、火災による被災者の抑制に努めてまいります。

救急業務につきましては、引き続きドクターヘリや医療機関との連携を強化し、迅速な救急搬送態勢を確立するとともに、救急救命士を医療研修機関に派遣し高度な知識技術を修得させるなど、救急隊員の資質向上を図ってまいります。

消防団につきましては、国が定める装備基準に基づき消防団の装備資機材を整備し、団員の安全確保に取り組んでまいります。

また、平成31年度に本町を会場に開催される、渡島地方消防総合訓練大会に向け、訓練並びに準備を進めてまいります。

以上、町政執行の概要について申し述べましたが、日々の変化を鋭敏に感じ取り、町民のみなさんの声に耳を傾けながら、共に汗を流し地域づくりに邁進する決意であります。

町議会並びに町民のみなさんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。